

34401AでRS-232C通信がうまく
いかない。どのようにすればいい
ですか？

Notices

© Keysight Technologies Incorporated, 2002-2020

1400 Fountaingrove Pkwy., Santa Rosa, CA 95403-1738, United States All rights reserved.

No part of this documentation may be reproduced in any form or by any means (including electronic storage and retrieval or translation into a foreign language) without prior agreement and written consent from Keysight Technologies, Inc. as governed by United States and international copyright laws.

Restricted Rights Legend

If software is for use in the performance of a U.S. Government prime contract or subcontract, Software is delivered and licensed as "Commercial computer software" as defined in DFAR 252.227-7014 (June 1995), or as a "commercial item" as defined in FAR 2.101(a) or as "Restricted computer software" as defined in FAR 52.227-19 (June 1987) or any equivalent agency regulation or contract clause.

Use, duplication or disclosure of Software is subject to Keysight Technologies' standard commercial license terms, and non-DOD Departments and Agencies of the U.S. Government will receive no greater than Restricted Rights as defined in FAR 52.227-19(c)(1-2) (June 1987). U.S. Government users will receive no greater than Limited Rights as defined in FAR 52.227-14 (June 1987) or DFAR 252.227-7015 (b)(2) (November 1995), as applicable in any technical data.

Portions of this software are licensed by third parties including open source terms and conditions.

For detail information on third party licenses, see [Notice](#).

34401AでRS-232C通信がうまくいかない。どのようにすればいいですか？

Contents

34401AでRS-232C通信がうまくいかない。どのようにすればいいですか？

お手数ですが、以下の4つのステップで設定を試みていただけますでしょうか。

【STEP0：ソフトの確認】

BASICやVB、C等のプログラミングソフトまたは弊社製品Veeなどのソフトをお使いの場合は、御使用のPCへのI/Oライブラリ（ドライバ）のインストールが必要となります。I/Oライブラリは、弊社のGPIBカードに付属しております。また、お手元にはない場合は、弊社より直接ご購入いただく事も可能です。

ただし、IntuiLink（34401A等に付属）を御使用の場合は、インストール時にI/Oライブラリのランタイムをインストールすることができますので、I/Oライブラリのインストールは不要です。

【STEP1：ケーブルの確認】

RS232ケーブルはクロスケーブルを御使用下さい。測定器本体に付属しているケーブルはクロスケーブルです。

もしお持ちでなければ、RS232-61601をご購入下さい。

【STEP2：設定の確認】

次に測定器本体、ソフトウェア（IntuiLinkまたはBenchLinkを含む）を同じ設定にしなければなりません。（できれば、PC本体（デバイスマネージャーよりCOMポートの設定）も同じにして下さい。）

リモートインターフェイスの設定をRS232にする（測定器本体）

ボーレートの選択（全部）

パリティの選択（全部）

フロー制御の選択（全部）

ポートの選択（PCとソフトウェア）

以上の設定が同じことをご確認下さい。異なる場合は、変更下さいませ。測定器本体の設定変更につきましては、和文マニュアルをご参考下さいませ。

【STEP3：通信不具合の切り分け】

以上で、上手くいかない場合は、測定器本体とPC本体の通信をチェックします。これには、Windows付属のハイパーターミナルを使用します。ハイパーターミナルは、スタートメニューの[プログラム]-[アクセサリ]にあるかと思えます。

ハイパーターミナルでの通信の設定は、御使用のCOMに合わせて下さい。その選択したCOMのプロパティのポートの設定で、「フロー制御(F):なし」にして下さい。

また、コマンドを送る前に、ハイパーターミナルの[ファイル]-[プロパティ]-[設定]のエミュレーション(E):を自動検出からANSIに変更して下さい。

それからその[設定]の[ASCII設定]の中のASCII送信で、「行末に改行文字をつける」と「ローカルエコー」をCheckして下さい。

ハイパーターミナルでのRS232C通信のCheckをする場合のコマンドは、
SYST:REM

で、Enterを押して下さい。

通常に通信が確立できている場合は、以上のコマンドを送信すると測定器のフロントパネルにRmt

34401AでRS-232C通信がうまくいかない。どのようにすればいいですか？

(Remote) のアナウンシエータが点灯します。 ハイパーターミナルを使えば、例えばPCと測定器を使った測定で動作不良の場合、プログラムの不具合か通信（インターフェイスの不良等）の不具合か切り分ける事ができます。

以上の設定をご確認いただき、またハイパーターミナルからのリモートが確立できない場合は、御使用のPCに不具合があることがございます。御使用のPCを替えて、再度お試し下さいます様、お願いいたします。また、PCを替える事ができない場合は、GPIB経由でのご運用をお勧め致します。

